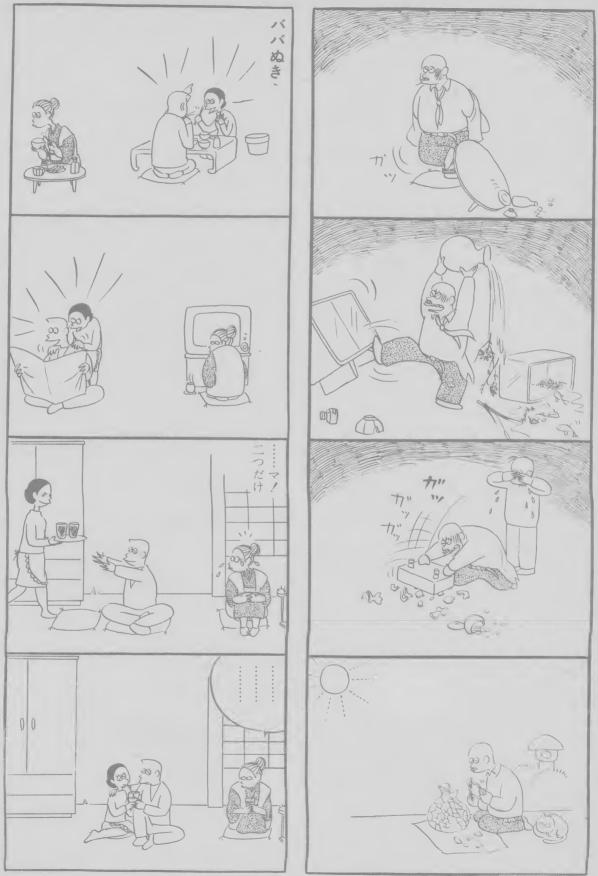


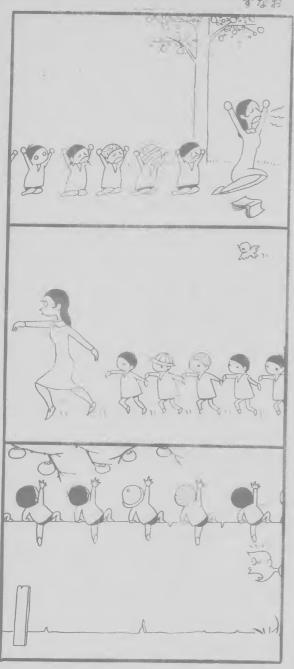
勝又 進作品集

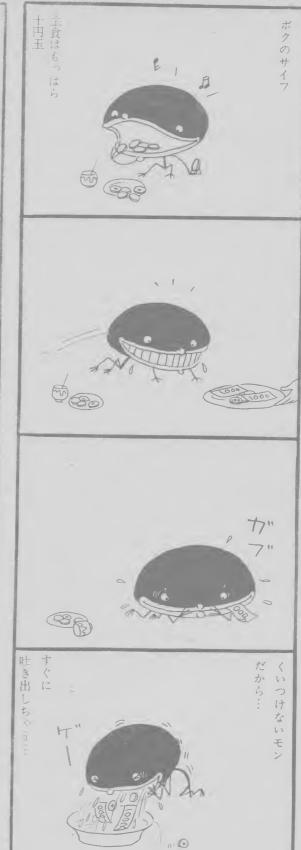
No.26





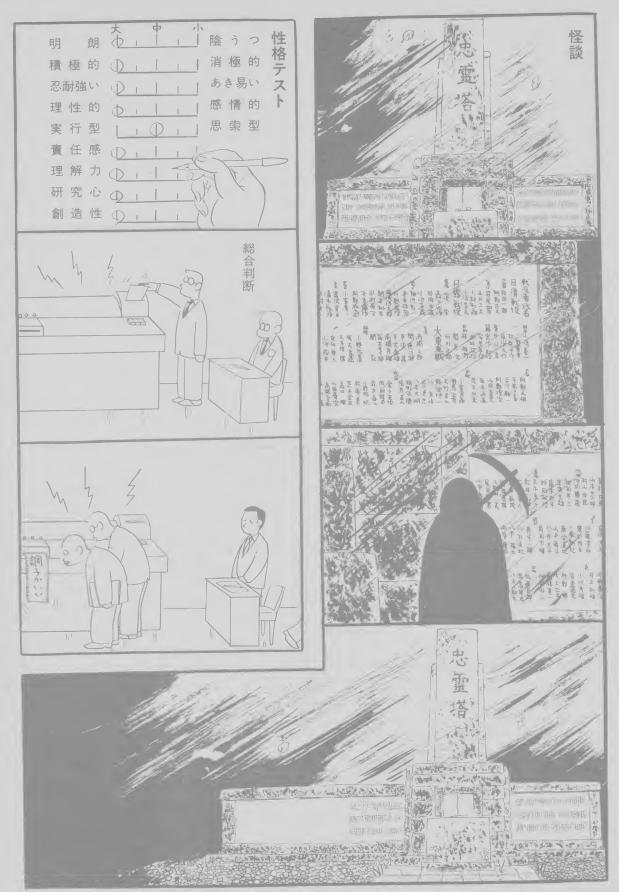




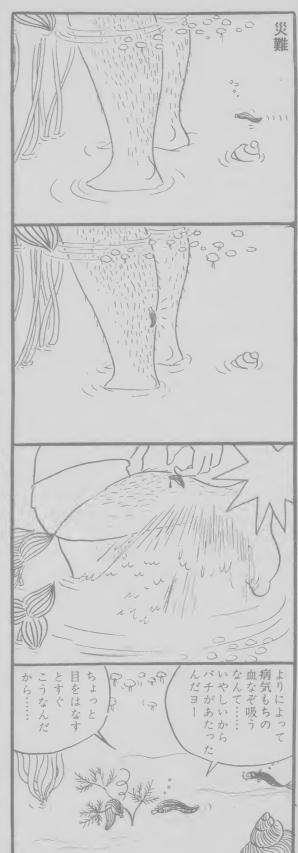


















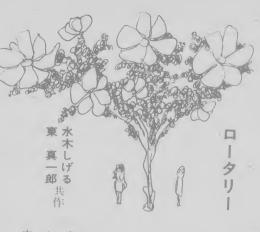








次号をおたのしみに…………



ていた。そして、
ていた。そして、
ていた。そして、

とバカにしたと思われるし、つかれてもつかれるね。忙しいからかえれてもつかれるね。忙しいからかえれというとおこるしね。妙な失言すると、なにもしなく

部屋の片隅に石油ストーブが二つ

るよ

で毒素を出すらしくくさい。いるらしく、それがこの六月の暑さ置いてあり、その中に石油が残って

いる。そのうち医者がきた。どこかみる

定かでなくなりますが」であるこまでくると、常人か気狂いかあここまでくると、常人か気狂いかまかで、時々精神ができません。ままないでなくなりますが、ことですなあ。私

事をしすぎるのだということをいってかえった。ところが、めまいがして立ち上がれないはずの水木氏は、起き上がり仕事にかかったのである。だ。どうしたんだ」というと、「白紙にするわけにいかない」というのだ。こちらも邪魔にならぬうちに引き上げたが、そのあくる日テツ夜をき上げたが、そのあくる日テツ夜をしているのである。

のが、ぼくの感想だった。(東記者)るのはそう遠くないであろうというまあいずれにしても、氏のたおれ

この前アシスタントを募集したら、

七十人ばかりきた しかし、みな下 手な絵だったので、二、三人採用して でアシスタント希望者がふえたらし い。中にはいきなり荷物をもって上 京して、いきなり水木プロにふとん しいてねようとしたのが五、六人い たので、たたちに起床してもらった。

売りあるいていた。 「悪魔くん」を芝居にしたいと「笑 はどまってくれというと、ではちょ はどまってくれというと、ではちょ

「劇団の経営も大変なんですなあ」

と、お茶を一パイのんでかっった。 です。好きでないとできませんなあ。 そうです。新宿のナントカ座で旗

た。そのためにどこかを断えらなけるためにはどこかに連載してければるためにはどこかに連載してければならず、これで、トモス、や、とサンデーに一ヶ月一回することになったものの、テレヒにするとい

ころにあったのかもしれんな。まいがしたのも案外原因はこんなとればならず、これが大変な問題の

2/1

のであろう。 おいまでは、これでは、 のであろう。 原中に現われたと思うと、早朝 を かせている。 きっと次回作の準備なかせている。 きっと次回作の準備な

2/12

ことにして遂に一日損をする。 たが、「あまりへンなもの作られる とこまりますよ」とアシスタントが 6 とこまりますよ」とアシスタントが 6 一166

nfr.

時間もかかる。 とな。早速 多摩霊園に行ったが、とな。早速 多摩霊園に行ったが、となる。 日本 多摩霊園に行ったが、

le .

り、たおれるというわけです。というようなことでいずれ病気にないのいろクドクドと書いたのは…

アーメン

水水儿